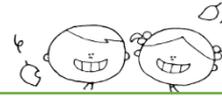


みんなとつながる・つなげる



12月になり、学校は学期末を迎えています。早いものです。先週は、各学部ともに授業参観が行われました。各学部とも、たくさんの保護者の皆さんに来校していただきました。ありがとうございます。

本校の教育支援部では、保護者の皆さんが来校される時を活用して、校舎ごとに「支援ファイル」の展示と紹介を行っています。「支援ファイル」は、地域や地区によって、名前も違いますし内容も様々です。いろいろな地区の「支援ファイル」を見ることで、自分で使いやすい自分の「支援ファイル」を作ることができます。そして、『活用の第一歩は、“資料を綴じること”』であることも紹介しています。



本校では、昨年度から保護者の皆さん全員にお住まいになっている地域の「支援ファイル」を持っています。今年も、4月にファイルの所持確認を行い、地域と連携して、保護者の皆さん全員が「支援ファイル」を持つことができました。地域の皆様ご協力ありがとうございます。

「支援ファイル」には、学校で作成した「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を綴じていただいています。個別懇談が行われるときには持参していただき、支援状況の確認等を行っています。「支援ファイル」は、子どもたちが学校を含めた地域と“つながるそしてつなげる”ツールです。有効に活用できるよう、今後も様々な情報を提供していきたいと考えています。



また、常時、各校舎に場所を設けて、各市町村の障害者計画（市町村によって名称が少し違います）やサービスの提供状況等の情報提供も行っています。「障害者計画？聞いたことはあったけど初めて見た！！」とおっしゃる保護者の方もいました。「各市町村で作成されているんですね」と新たな発見をされる保護者の方もいました。今後も“地域で共に生きる”を大切にした支援を心がけていきます。

令和元年12月



～児童生徒一人ひとりの夢の実現をめざして～

福島県立たむら支援学校長 齊藤 恵子